

Hinata Bokko

Hinatadai Hospital Public relations magazine



特集

人との関係性と生きづらさ
精神科救急急性期医療病棟

公益財団法人積善会 日向台病院

発行/広報企画推進課 Vol.21 2025 秋 印刷/特定非営利活動法人横浜 SSJ (就労 B 型事業所)

日向台病院 広報誌 Vol.21

人は関係性の中で生きています。

心を病むと距離感を保つことがむずかしくなり

生きづらく、生活を送るのが困難になります。

心の回復は、人との良好な関係性の再構築なのです。

関係性の再構築の方法を共に考え

生活をサポートします。

患者さんといねいに関われる時間を作っていきたい



それは、院長回診の時でした。

「院長先生!こんにちは」と院長の担当の患者さんが駆け寄ってきました。

「先生、退院するためにはどうしたらよいですか?」といつものように質問してきました。

院長は、いつものように説明していきます。

人との距離感をうまく保てないその患者さんは、病院のスタッフたちに支えられ入院生活を送っています。

人は関係性の中で生きています。その関係性の中で適度な距離感を保ち、関わる事で他人と自分の違いを見出し、自分らしさを感じ、初めて自分自身を認めることができると思います。

しかし、心を病むと距離感を保つことがむずかしくなり、その関係性作りも上手に

できなくなくなります。そうすると生きづらく、生活を送るのが困難になります。

私たち、日向台病院スタッフは、安心できる場所を作り患者さんを認め、患者さんの声に耳を傾け、関係性の再構築の方法を共に考え、地域で生活できるようにサポートしています。

しかし、一人、一人ていねいに患者さんに声を傾けられない時もあり、スタッフも葛藤を抱えています。心病む人にとっての心の回復は、人との良好な関係性の再構築なのです。

私たち日向台病院のスタッフは患者さんと少しでも長くていねいに関われる時間を作っていきたくと考えています。

これが私たち日向台病院スタッフの姿勢です。

日向台病院 看護部長 斉藤悦子



精神科救急急性期医療病棟

精神科救急急性期医療病棟 看護師 高橋伸作

うつ病、統合失調症、適応障害、不安障害、双極性障害、パニック、落ち着かない
様々な診断、症状、障害がある。

しかし、患者さん一人ひとり向き合っていると気持ちがわかってくること
がある。

「つらい」

という気持ち

私たち、看護はその「つらさ」を柔らかくするための一つの手段だと思う。

患者さんの気持ちという土台と一緒に立ち、歩みを支える「人」でありたい。

私たちが日々接する方々（患者さん）は日常生活の中でこちらの不調によって生活が送れなくなり一時的にその生活をする場所から離れてここ（病院）に来ます。

入院を前向きにとらえる人もいます。反面、後ろ向きに考える人もいます。

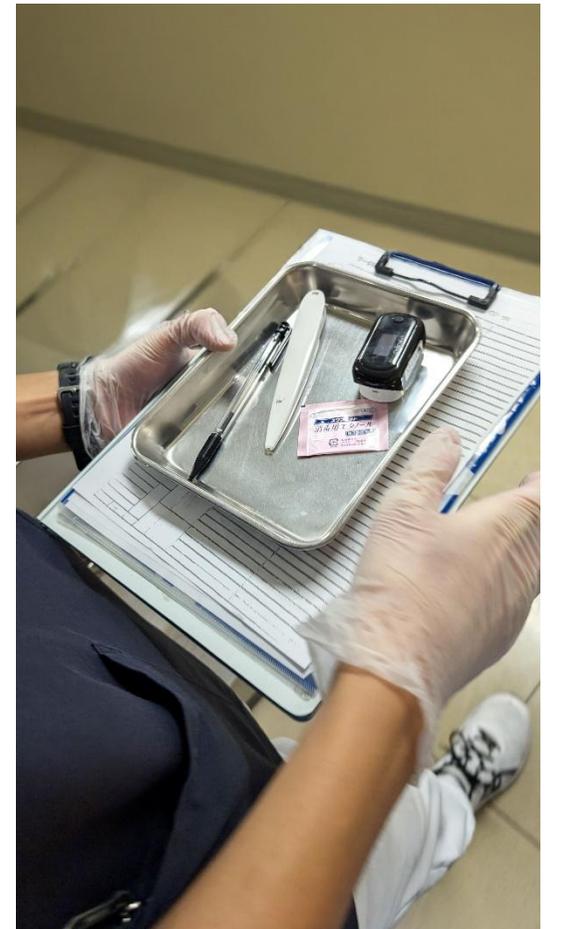
その後ろ向き方々は大変つらく、孤独を感じていることが多いと思います。

その時に私たち看護師に何ができるのかを日々考えています。

とある患者さんが大変つらい気持ちを抱えて入院をしていました。

そんな中、お話をする機会がありました。話しをしていく中で、この方に私（看護師）は「何ができるのか？」と想いを巡らせていました。

その時に「何がでキなのかわ？」ではなく「その方の気持ちは何か？」と気持ちを考えなくてはいけないと気づきました。



その時、この方の話しの根本にある気持ちは孤独や寂しさだと感じました。それ以降、日々積極的に声掛けをするようになりました。

その後、退院する際にその方は「私の話しだけでなく気持ちをひろってくれてありがとう」と言い退院しました。

精神科救急急性期医療病棟は確かに症状が活発な状態で生活が送れなくなり入院してきます。その際、薬物療法、その後の精神科リハビリテーションを行います。

ただ、高度な医療を提供する前に「人の話し」の奥にある「想い」をいかに理解するか？

表面だけでなくその方の気持ちをいかに理解していくかが大切だと思っています。

※精神科救急急性期医療病棟

精神科救急医療を中心的に担う高規格の精神科専門病棟です。精神科の中でも看護師の手厚い配置など高い医療を期待されています。

公益財団法人 積善会
 ◇関連施設（神奈川県横浜市旭区）
 グループホーム
 ハイツすずらん
 ハイツひなた1・2・3・4
 訪問看護ステーションひなた

◇関連施設（神奈川県小田原市他）
 曾我病院
 積善会訪問看護ステーション
 介護老人保健施設リバーイースト
 通所リハビリテーションリバーイースト
 短期入所療養介護リバーイースト
 積善会看護専門学校
 あしがらクリニック（足柄上郡松田町）
 介護医療院こもれば

□関連法人（神奈川県小田原市）
 社会福祉法人 積善会
 特別養護老人ホームルビーホーム
 軽費老人ホームケアハウスルビーホーム
 通所介護短期入所生活介護ルビーセンター
 小田原市第五地区地域包括支援センター
 社会福祉法人 永耕会
 知的障害施設光海学園
 知的障害者入所更生施設永耕園
 知的障害者通所更生施設デイセンター永耕



日向台病院ホームページ



日向台病院公式Instagram

公益財団法人積善会 日向台病院
 〒241-0014
 神奈川県横浜市旭区市沢町 1081
 TEL/045-373-4114（代表）

日向台病院

■交通のご案内

●相鉄線「二俣川駅」南口1番乗り場より系統
 【旭1】<左近山・市沢町経由> 鶴ヶ峰駅行き
 左近山第5行き/左近山第6行き
 【旭6】<左近山・市沢町経由または左近山経由> 東戸塚駅西口行き
 「左近山第3」バス停下車、徒歩5分

●相鉄線「和田町駅」南口より
 【浜19】<市沢町経由> 新桜ヶ丘団地行き
 【浜16】<市沢町経由> 西原住宅行き/鶴ヶ峰駅行き
 「市沢町」バス停下車、徒歩7分

●JR 横須賀線「東戸塚駅」西口2番乗り場より
 【旭6】<市沢町・左近山経由> 二俣川駅南口行き
 【旭6】<市沢町経由> 左近山第1行き
 【旭6】<市沢町経由> 市沢小学校行き
 「市沢町」バス停下車、徒歩7分
 または「左近山第3」バス停下車、徒歩5分



入退院支援部開設



日向台病院では新たに入退院支援部門を開設しました。
 主に、入院された患者様が退院後に安心して地域生活ができるよう、入院初期から治療支援の充実を図り、退院に向けて必要な訪問看護などの医療サービス、ヘルパーや介護などの福祉サービスの導入の働きかけをして、切れ目ない支援を行う部門になります。
 具体的には入院初期からご本人、ご家族、医師・看護師、精神保健福祉士などの医療チーム、地域の支援機関と話し合いを行います。
 早い段階で退院後を見据えた支援計画を作成し、必要な支援の検討・調整をチームに働きかけます。

チーム全体の退院支援の動きを活性化させることで、院外も含めた地域支援の連携を強化でき、患者様の早期退院や再入院の防止にもつながると考えています。

